

決算報告

平成20年度

西条市の一般会計、特別会計、企業会計

財政状況をお知らせします

決算のごあいさつ



西条市長
伊藤宏太郎

平成20年度の西条市の決算がまとまりましたので、お知らせします。

一般会計の決算額は、歳入435億5319万円、歳出409億9848万円で、差し引き25億5471万円の剰余(剰り)となっております。このうち翌年度へ繰り越した事業に充てるための財源1億1813万円を除いた実質収支では、24億3658万円の黒字となっております。各特別会計の決算状況やその概要は、別記(4ページ)

のとおりとなっております。

平成20年度は、厳しい財政環境下ではありましたが、新図書館や東予運動公園屋内運動場など大型施設の整備を計画どおり進めるとともに、国の景気対策に対応し、地域経済を下支えするための事業を実施したことから、決算額は大幅な増額となりました。一方、市域全体の均衡ある発展と一体感の醸成に向けて、限られた財源を効率的に活用しながら、地域の行政ニーズを反映した各種事業にも精力的に取り組んでまいりました。

今後においても、非常に厳しい財政状況が続くと予想されますが、簡素で効率的な行政運営を基本とし、誰もが元気で幸せに暮らせるまちづくりを推進するため、全力を傾注してまいりますので、なお一層のご理解とご協力をお願いいたします。

予算・決算とは？

予算とは、1年間の収入(歳入)と支出(歳出)に関する見積もりをまとめた「計画」のことです。決算とは、実際の収支をまとめた「実績」に当たります。

市の会計は3種類

一般会計

福祉や教育、道路整備など、市政運営の基本となる会計です。

特別会計

国民健康保険や介護保険など、一般会計と区分する必要がある特定事業の会計です。

企業会計

企業経営という観点から、独立して経理する会計です。

※本文中の金額は、1万円未満を四捨五入しています。

市民1人当たりの計算は、平成21年3月31日現在の人口(114,606人)を基にしています。

平成20年度の主な事業



東予運動公園屋内
運動場整備事業



西条図書館整備事業



近藤篤山顕彰事業



丹原図書館整備事業